Rotary International District 2500

Governor's Monthly Letter

2026-27



2026.10.1

Vol.4

■ 2026-27年度　RI会長テーマ

CREATE LASTING IMPACT

持続可能なインパクトを生み出そう

■ 2026-27年度　RI第2500地区ガバナー　地区スローガン

親睦から始まる持続可能な奉仕！

～原点回帰・ロータリーを楽しんでいますか？～

RI会長代理　ご挨拶　1
ガバナーメッセージ　3
ガバナー公式訪問レポート　5
米山記念奨学生からの報告～函館旅行記　18
米山月間に因んで　19
分区だより　20
ポリオのない世界へ ―　21
奉仕の輪を、次の世代へ　釧路北RCの取り組み　22
新入会員の紹介　24
例会出席率・会員数推移　25
RIバルセロナ国際大会2027お知らせ　26
ガバナー事務所のご案内　27
地区大会お知らせ　28

表紙写真　旭川空港（旭川市・東神楽町）

RI Acting Chairman's Greetings

RI会長代理 ご挨拶



2026-27 年度　国際ロータリー 会長代理

佐　藤　芳　郎（岡山南 RC）

RI第2500地区の地区大会ご開催、誠におめでとうございます。

オラインカ・ハキーム・ババロラ2026-27年度RI会長の代理として、歴史と伝統に輝く貴地区へ訪問させていただきます、2022-24RI理事を務めました佐藤芳郎と申します。誠に、身に余る光栄なこと存じております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

ババロラRI会長は「Create Lasting Impact (持続可能なインパクトを生み出そう)」の会長メッセージのもとに、ロータリーメンバーに積極的な奉仕･親睦活動の実践を求め、その結果として個々のクラブをより活性化し、「ロータリーを育てる」ことを奨励しています。

奉仕面ではポリオ根絶、平和と奉仕７重点項目への注力を継続します。個人･クラブ･地区の各レベルでの地域に根差した積極的な奉仕を推進していただきますと共に、ロータリー財団を活用した奉仕のために一層のご支援をお願い申し上げます。

会員数はアジア･アフリカ他の一部で増加していますが、ロータリー先進国である米国･英国･豪州･ヨーロッパ等で軒並み減少中で、全体では依然として微減状況です。日本でも低迷中で、この7月は80,849人でスタートしました。各クラブが更なる活性化を図り、共にロータリー活動を楽しむ新しい仲間を迎え入れることに加えて、多様化した新しいクラブ導入のご検討を強く期待しています。ロータリー創立125周年を迎える2030年度の会員目標は、ロータリー会員125万人・RAC会員12.5万人です。

RI第2500地区の皆様には今後とも、「超我の奉仕」の基本理念のもとで心の交流と奉仕実践を積極的に推進され、公共イメージを向上し、会員とクラブが研鑽を継続してその魅力をますます高め、クラブ多様化も検討して「ロータリーを育てる」ことを実現されることで、今年度を「記憶に残るよい年度」となさることを、衷心より祈念いたしております。

profile

国際ロータリー会長代理　略歴

佐藤芳郎（1949年 2月 生）

所　　属　RI第2690 岡山南ロータリークラブ
職業分類　公認会計士

1974	慶應義塾大学大学院 商学研究科 会計学専攻 修了
1989	岡山南ロータリークラブ 入会
2010-11	会長・理事
2015-16	RI第2690地区　地区ガバナー
2016	RI第3ゾーン理事指名委員・委員会招集者
2016-21	日本のロータリー百周年記念事業等委員会委員
2016-17	RI第2690地区 PHSコーディネーター
2017-18	RI第3ゾーン ロータリー財団地域コーディネーター補佐
2019	RIラーニング･ファシリテーター
2019-22	RI第3地域 恒久基金/大口寄付アドバイザー (E/MGA)
2020-22	(公財)米山記念奨学会 理事
2022-24	RI理事
2022-	(公財)ロータリー日本財団 副理事長
2025-	TRF 寄付推進委員会 委員

ロータリー財団　AKS(管理委員会サークル)
- ベネファクター
- ポール・ハリス・ソサエティー (PHS) メンバー
- ポリオプラス・ソサエティー (PPS) メンバー
- 「ロータリー平和センター」冠名基金設立
- 「水と衛生」冠名基金設立
- 「シェアー」冠名基金設立
- 遺贈友の会 (レベル2)

第73回米山功労者メジャードナー

ガバナーメッセージ

Governor's Message



2026-27年度
国際ロータリー第2500地区ガバナー
山　本　倫　生（旭川 RC）

ＲＩ第2500地区の皆さまへ

2026-27年度も4か月目を迎えました。各クラブにおかれましては、新年度の活動も徐々に軌道に乗り、それぞれの地域において奉仕と交流が広がっていることと思います。

9月末日で57クラブを訪問し、会員の皆さまと直接お話しする機会を重ねる中で、改めて感じていることがあります。それはロータリーの原動力は「人と人とのつながり＝親睦」にあるということです。
クラブにはそれぞれに長い歴史があり、地域との関わりがあり、そして会員一人ひとりのロータリーへの思いがあります。その違いこそが、それぞれのクラブの魅力であり、地域に根差したロータリーの強さなのではないでしょうか。

10月は、地域社会の経済発展月間、米山月間であり、さらに10月24日は世界ポリオデーです。地域社会の発展を考えることも、青少年や留学生を支援することも、ポリオ根絶という世界的な課題に取り組むことも、一見すると別々の活動に見えるかもしれません。しかし、その根底には「より良い未来をつくる」というロータリー共通の思いがあります。

特に米山記念奨学事業は、日本で学ぶ外国人留学生を支援し、将来、国と国、人と人をつなぐ架け橋となる人材を育てる取り組みです。奨学生との交流を通じて、私たち自身も異なる文化や価値観を学ぶことができます。9月13日には旭川にて米山記念奨学会カウンセラー研修が行われました。奨学生とカウンセラーが改めて奨学事業の目的や使命、カウンセラーの役割、奨学生の義務などについて再確認しました。

また、ポリオ根絶活動も、世界中のロータリアンが長年にわたって力を合わせて取り組んできた、ロータリーを代表する国際奉仕です。最後の一人を救うまで、その歩みを止めないことが大切です。

「一人ではできないことも、力を合わせればできる。」

これはロータリーの歩みそのものだと思います。

だからこそ今年度は、クラブとクラブ、会員と会員、そして地区とクラブとの「つながり＝親睦」を、さらに大切にしていきたいと考えています。

奉仕活動は、大きな事業でなければならないわけではありません。地域の困りごとに耳を傾け、一人の若者を応援し、一人の外国人との友情を育み、一つの命を守るために行動する。その一つひとつが、ロータリーの奉仕です。

10月は、これまでの活動を振り返るとともに、私たちが何のためにロータリーに集い、何を地域社会に残していくのかを、改めて考える月にしたいと思います。

「持続可能なインパクトを生み出そう」

その思いを胸に、会員同士が互いに支え合い、クラブの魅力を高め、地域社会に信頼されるロータリーを共に作ってまいりましょう。

皆さまの一つひとつの行動が、地域を変え、未来を変えます。

今月は地区大会があります。元気に、そして楽しく、皆様をお迎えいたします。

ガバナー公式訪問レポート

訪問日 8月17日 | 第3分区 北海道2500REC | 会長　渡邉 正俊　幹事　中嶋 昌則

北海道2500ロータリーEクラブは、2014年１月25日 旭川北ロータリクラブをスポンサーに設立。

今年度、渡邉正俊会長は「現状（いま）を確認し、さらなる進化の持続へ〜親睦を始点（はじまり）とする持続可能な奉仕〜」をテーマとし、過去の事業を検証し、親睦で培ったクラブ内外の人脈を“行動を生み出す力へ”転換し、持続可能な奉仕活動を行う基盤を再構築したいと考えています。

その中で今年度は、フットサルの冠大会を企画したり、車いすバスケットボールチームへジャージを寄贈したりと、既にアクティブに活動をしています。

ただ、会員数が18名から13名（内女性３名）へと減ってしまい会員数の維持・増強には苦慮していますが、Eクラブの強みを最大限に生かし「価値ある場」への転換を考えています。

北海道2500Eクラブは、少数会員ではありますが活発に活動をし、とても魅力的なクラブですので、今後ますますの発展を期待いたします。

（公式訪問随行者　地区幹事　小滝達也）







訪問日 8月17日 | 第3分区 美瑛ロータリークラブ | 会長　荒川　亘　幹事　山田 浩二

美瑛ロータリクラブは、1973年３月21日 旭川北ロータリクラブをスポンサーに設立。

今年度、荒川亘会長は「つながりを深め、美瑛の未来を育むロータリー」をテーマとし、美瑛という地域で、存在意義を改めて問い直し「選ばれるクラブ」「参加したくなるクラブ」をめざしています。

会員数33名（内女性会員２名）で、近年会員数は増えています。

今後は、地域で活躍する次世代のリーダーへ積極的に声をかけ、クラブの魅力を伝えていくと同時に既存会員とのコミュニケーションを更に深め、会員増強と維持に努めています。

さらに、地域の子供たちが、地元で学び、地元で働き続けたくなるような環境づくりに貢献し、職業奉仕の観点から、多角的にアプローチをし、会員の専門性を生かした機会をつくっています。

美瑛は、環境的にも恵まれ魅力的な地域ですし、活気がありますので、今後ますますの発展が楽しみです。

（公式訪問随行者　地区幹事　小滝達也）







訪問日 8月18日　第3分区 旭川空港ロータリークラブ　会長　横溝 政行　幹事　前田 哲也

旭川空港ロータリークラブは、1995年旭川南RCをスポンサーに設立されました。

今年度、横溝政行会長は「地域に根差したロータリー活動　楽しいクラブ活動を『想像』しましょう！」とし、会員数16名（内女性２名）で近年会員数を増強しはいますが、２年間で７名の会員増強を目指し、更には、退会防止に向け「声をかける、寄り添う、参加してもらう」ことを大切にし、会員同士のつながりを深めています。

活動としては、花神楽での交流やラベンダーの草取りなど、地域に根差したボランティア活動にも積極的に取り組み、地域とロータリーが関りを持ちながら活動をしています。

また、佐世保中央ロータリークラブとは約40名で交流を行うなど、クラブを越えた友情も育んでいます。

これまでの交流をまとめた会員増強ファイルからも、温かなクラブの絆と、さらなる発展への意欲が感じられました。

更なる飛躍が期待できる、魅力的なクラブです。

（公式訪問随行者　地区副幹事　髙橋佳子）







訪問日 8月19日　第3分区 旭川北ロータリークラブ　会長　三國　亨　幹事　窪田 幸雄

旭川北ロータリークラブは、1968年旭川西RCをスポンサーに設立されました。

今年度、三國享会長は「みんなで奉仕活動を体感し広げていこう！－北ロータリークラブの団結と、活動の見える化－」をスローガンとして、創立60年を目前として59年目を迎え親睦の機会をさらに増やすとともに、地域での継続した奉仕活動を実施し、それを発信しています。

会員増強としては、最大80数名居ましたが近年40名まで低迷していましたが、今年度は52名（内女性４名）で、今期５名の純増を目標にしています。公式訪問時に新会員が２名入会し、体験参加者が１名居りましたので、早いうちに達成できるものと思われます。

社会奉仕活動として、「学習支援活動」に関しましては継続事業として『学習支援勉強会』『えんぴつとはし』『ゆずりは』等々を全会員で当番日を割り振り年間を通して活動をしています。

更に、「旭川市ごみのポイ捨て禁止運動取組団体」のマイスター団体へランクアップもしています。

とても元気で活発なクラブですのでこれから益々の発展が期待出来る楽しいクラブです。

（公式訪問随行者　地区幹事　小滝達也）







訪問日 8月19日　第3分区 上川ロータリークラブ　会長　辻　拓　幹事　南　紀行

上川ロータリークラブは、1975年３月１日 旭川北RCをスポンサーに設立されました。

今年度、辻拓（つじ ひろし）会長は、昨年創立50周年を終えて、次なる未来に向けて会員一丸となって積極的に活動をしています。

会員増強と退会防止に関しましては、現在11名（内女性１名）ではありますが今年度目標を15名とし、２名入会予定ですので、あと３名を年度内に増強予定です。

また、少数ながら地域への社会奉仕は積極的で、地域のイベントへの参加はもとより石狩川の最上流でのごみ拾い、また上川町開基90周年記念「エスポワールの鐘」周辺の清掃を毎年行っています。これらの活動は、公共イメージの向上にもつながっています。

更には、上川町の事業「地域おこし協力隊」との連携を深め30～40代の若手経営者と共に例会の卓話をしていただいたり、共に例会を開催したりと、将来へもつながる活動を積極的に行っています。

地域と共に活動し、これからが楽しみなクラブです。

（公式訪問随行者　地区幹事　小滝達也）







訪問日 8月25日　第2分区 枝幸ロータリークラブ　会長　金子 清信　幹事　岡　久

枝幸ロータリークラブは、1978年に創立され、来年50周年を迎えます。現在の会員は25名で、女性会員はいませんが、会員増強活動に取り組んでいます。ガバナー公式訪問が行われた例会では、新入会員も入会されました。

会員同士の親睦が強いのが特徴であり、次世代の担い手育成も実践しています。就職前面接も長年にわたって行われています。

今後ますますのクラブの活躍を祈念いたします。併せて、金子会長の体調回復を心からお祈り申し上げます。

（公式訪問随行者　地区副幹事　田中稔力）







訪問日 8月25日　第2分区 名寄ロータリークラブ　会長　有田 昭宗　幹事　喜多 美仁

名寄ロータリークラブは、1959年5月5日に創立され、現在の会員数は50名です。

有田会長は、「持続可能なクラブをめざして」～和顔愛語の実践～、つまり穏やかな笑顔で接し、思いやりのある言葉をかけることを目標に掲げています。同時に、次世代へ自信を持ってバトンをつなげる持続可能なクラブを確立することが最重要課題と考え「揺るぎない財政基盤の再構築」に取り組んでおられます。

会員増強は未充填職業の加入強化、退会防止は「管理から対話へ」と発想を変えて実践しています。

長年にわたり、交通安全運動、名寄市スキーパトロール、赤十字奉仕団への支援活動、公園等の清掃·植樹活動など、社会奉仕も活発にされていいます。

名寄市立大学の学生への手厚い奨学金も支給されていて、入学試験倍率もあるほど、奨学生の推薦基準もしっかりと行われている。

誰もが「Happy」な笑顔で共に歩んでいかれることを祈念致します。

（公式訪問随行者　地区副幹事　田中稔力）







訪問日 8月26日　第2分区 士別ロータリークラブ　会長　谷村 一文　幹事　鈴木 春樹

士別ロータリークラブは、1960年3月24日、旭川西クラブをスポンサークラブとして創立されました。現在の会員数は44名。出席率は80パーセント以上に達し、さらに向上を目指しています。

第67代の谷村会長が掲げたスローガンは、『唯一無二～個々の個性が創り出す組織力で全力奉仕』。地域親睦・地域奉仕についても長年にわたり充実した活動を展開されています。

地域社会福祉活動、各交通安全運動、地域奉仕活動への協力と参加。スポーツ少年団への助成、青少年活動事業の支援、ロータリー文庫への寄贈、士別翔雲高校野球部·ボランティア部への支援·協力。ライラセミナー参加…。クラブのPRになればと、谷村会長はハーフマラソンに幹事と共にノボリを持って参加し、完走しました。

楽しくコンパクトな例会にするため、ユニークな工夫もされています。

歴史と伝統を大事にしながら、記憶に残る活動実績を挙げ、次世代の架け橋となるよう、谷村会長は半歩前を謙虚に歩まれています。今後のクラブの発展を祈念いたします。

（公式訪問随行者　地区副幹事　田中稔力）







訪問日 8月26日　第2分区 中頓別ロータリークラブ　会長　長谷川 克弘　幹事　幅田 知行

中頓別ロータリークラブは、1966年8月7日、道内38番目に創立されました。

クラブテーマは〝絆〟。創立以来、「超我の奉仕」の理念のもと、地域社会への奉仕と会員相互の友情を育みながら歩みを積み重ねてきました。精神や地域との絆を大切に、60年の誇りを胸に活動されています。

会員増強のため、セミナー開催や女性会員入会強化・退会防止を展開しています。その一方で、会員や会員家族との親睦交流、地域の行事･事業への積極的な参加、スポーツ少年団活動に対する支援奨励、ロータリー財団、米山奨学金、ポリオ撲滅助成金への積極的な協力も行っています。

夜間例会も定期的に導入し出席率向上にも取り組んでおられます。

これからの活躍に祈念致します。

（公式訪問随行者　地区副幹事　田中稔力）







訪問日 8月27日　第2分区 美深ロータリークラブ　会長　園部 一正　幹事　渡辺 美由紀

美深ロータリークラブは、1964年2月12日に創立されました。現在の会員数は29名です。

園部会長は、24年前にも会長を務め、今回2回目の就任となります。「親睦」を最も大事にされ、長い時間をかけても約束を果たすことを、親睦と互いの尊敬の下、クラブの発展に努めています。。

職業奉仕では、美深高校2年生30名に対して、毎年10名の会員が、模擬面接を行っています。職場訪問例会も定期的に行われています。

社会奉仕では、交通安全を呼びかける啓蒙活動、ロータリーの森・例会場の清掃活動、児童養護施設や子どもたちに読書奨励活動などを、長年持続的に行っています。

ライラには2名が参加しています。新入会員の入会、ロータリアンとしての証をガバナーから受け取る式もあり、クラブ活動が安定していて見習うべきことがありました。

これからも、親睦を大切にしたクラブ活動を祈念いたします。

（公式訪問随行者　地区副幹事　田中稔力）







訪問日 8月31日　第3分区 旭川南ロータリークラブ　会長　西海 正博　幹事　犬伏 和夫

旭川南ロータリークラブは、1973年2月11日 旭川西RCをスポンサーに設立されました。

今年度、西海 正博会長は「つながりを力に、行動するロータリー」をスローガンとし、会員一人ひとりのつながりを大切にし、会員相互の信頼と友情をより一層深め、多様化する社会の中でクラブとしての柔軟性と活力を高めています。

先ずクラブ内強化の為、会員が一体感を持てるよう組織改革をしました。

更に、社会奉仕活動として「西神楽ほたるの会」への寄付、「北海道中学軟式野球選抜北海道大会兼旭川南ロータリークラブカップ」冠大会の開催。

そして、「旭川市愛育センター」へ職場訪問例会を予定し児童発達支援状況を学ぶ予定とのことです。

旭川南クラブは過去ガバナーを２名排出し、現在会員２９名（内女性２名）ですが出席率が高く退会者も少ない、西海会長のスローガン通りのクラブです。

今後ますますの発展を祈念いたします。

（公式訪問随行者　地区副幹事　田中稔力）







訪問日 9月1日　第4分区 紋別港ロータリークラブ　会長　田中 康朗　幹事　保村 幸二

紋別港ロータリークラブは、1972年6月11日創立。会員数30名、女性会員3名です。

田中会長は、「会員個々のキャリアハイでインパクトある一年に!」をスローガンに、会員5名、女性会員1名の増強を目標としています。

親睦活動に工夫をこらして例会出席率向上に努め、80パーセント超えの出席率を達成しており、年次寄付にも積極的に参加しています。

プログラムをYouTubeに掲載したり、例会前の1分間体操や、例会の食事中にBGMを流したりするなど、新しいことに取り組んでいます。

最高の活動になるよう、祈念いたします。

（公式訪問随行者　地区副幹事　田中稔力）







訪問日 9月2日　第5分区 斜里ロータリークラブ　会長　武藤 香苗　幹事　田中 啓二

斜里ロータリークラブは、1963年10月5日創立されました。会員数は30名です。

武藤会長は、「楽しさを力に」をテーマに、単なる賑やかさや気楽さでなく、奉仕の場に意義を感じ、自ら関わりたくなる前向きな力であると考え、一体感を感じられるクラブづくりを進めています。

初の取り組みとして、対外紙を発行し、ロータリークラブの理解を深めてもらう活動も行っています。

会員増強活動ではまず対象者をリストアップし、理事会承認後に入会の声掛けをしています。

斜里町の人口10,400人のうち、技能実習生を含めた海外からの人口は600人を占めます。外国人の町民に対して、昨年から交通安全教室を行っています。

少年サッカー教室は、ノルブロッツ北海道FCに参加と指導を依頼しています。花火大会翌日に清掃活動、知床産業祭りに模擬店を出店し、募金活動を行い、ポリオに全額寄付を行っています。地域の団体とも交流を活発にされています。

「楽しさが親睦を深め、主体性を育み、奉仕を続ける力となる」を実践されています。今後のさらなるご活躍を祈念いたします。

（公式訪問随行者　地区副幹事　田中稔力）






訪問日 9月2日　第5分区 清里ロータリークラブ　会長　中平 哲也　幹事　前中 康男

清里ロータリークラブは、1969年10月8日に承認されました。現在の会員数は29名です。

中平会長のスローガンは、「楽しいロータリー活動」。長年にわたり、道路清掃や交通安全の街頭啓発など、清里の安全で美しい環境を守る活動を行っています。

地域柄、毎年10月になるとトラックが100台以上走行します。7～8kmの道路を3～4時間かけて清掃しています。町民にはロータリークラブのカレンダーを毎年配布しています。

清里産業祭りなどのイベントに積極的に参加し、ポリオ撲滅チャリティー募金活動、ロータリーバンドを通じて地域交流を行っています。

「あのクラブはいつも楽しそうに活動しているな」と地域の方々に感じてもらえる、積極的な活動が行われており、クラブの出席率は70%から80%を維持しています。

ますますのご活躍を祈念いたします。

（公式訪問随行者　地区副幹事　田中稔力）






訪問日 9月3日　第4分区 遠軽ロータリークラブ　会長　石井 朋子　幹事　前島 英樹

遠軽ロータリークラブは、1959年9月12日に創立されました。現在の会員数は47名です。

石井会長は、「絆 さらに前に進めよう」をテーマに、絆を深め、奉仕という言葉の意味を大きくとらえ、地域社会に住む人々にロータリーの存在を広め、行動し実行することを伝える活動を実践しています。会員増強も実践し、入会員も増えています。

奉仕活動も充実しています。地域社会への奉仕活動者に対する表彰、太陽の丘えんがる公園虹のひろばコスモス園にてプランター花壇植栽およびコスモス畑の草取り、児童自立支援施設･児童養護施設･障がい者支援施設への協力、交通安全活動、財団への協力参加、ポリオ根絶活動、遠軽高校ボランティア部への支援、ライラセミナー参加、遠軽ロータリークラブ旗争奪中学校野球大会の開催などを行っています。

このクラブの特徴はとにかく会員同士、仲がいいことです。一に親睦、二に親睦、三、四がなくて五に親睦。常に親睦を実践されています。

ますますのご活躍を祈念いたします。

（公式訪問随行者　地区副幹事　田中稔力）







訪問日 9月4日　第4分区 紋別ロータリークラブ　会長　太田　寿　幹事　今　康顕

紋別ロータリークラブは、1955年6月27日創立。現在の会員数30名で、うち女性が3名です。

太田会長は、「持続する親睦の輪を大きくしよう～ロータリーを楽しみ、奉仕を深めよう～」を、会長方針として掲げています。

活動方針の中でも、国際青少年交換事業は、国を超えて人と人とが理解し合い、次世代を担う若者が自らの手で、世界に向けて大きく進んで行くために、機会を与え、支えておられます。1968年派遣学生から、歴史ある活動をされ、現在も、派遣・受け入れに向け作業を進めています。

姉妹クラブとの交流も1966年から持続しており、Newport Rotary Club. President of the College Rotary Club. Rotary Club of Serembanと姉妹クラブを締結され、親密な交流を図り、有意義な親善活動を行っています。

紋別高校インターアクトクラブ活動への協力･支援も密接に行っています。

これからも親睦の輪を、世界に紡いで行かれることを祈念いたします。

（公式訪問随行者　地区副幹事　田中稔力）







訪問日 9月7日　第1分区 豊富ロータリークラブ　会長 佐々木 政義　幹事 水戸部 正博

豊富ロータリークラブは、1996年稚内RCをスポンサーに設立され、本年度、設立60年を迎えます。

今年度、佐々木政義会長は「会員の個々の元気～会員との親睦（楽しむ）～地域活性化（会員増強）～ロータリーへの積極的参加」をスローガンに掲げ、精力的に活動されております。

会員数20名（内、女性会員１名）で会員増強にはなかなか苦労されておりますが、当地域は全国的に有名な豊富温泉があり、奇跡の湯に治療に来られる方がたくさんいらっしゃいます。

こうした中、クラブでは交通安全や海岸清掃等、地域貢献、奉仕活動に努めておられます。

出席率は高く、今回、ガバナー公式訪問例会の出席率も100％でした。

更なる飛躍が期待できる、魅力的なクラブです。ますますご発展されますことを祈念いたします。

（公式訪問随行者　地区副幹事　本田秀明）







訪問日 9月9日　第1分区 礼文ロータリークラブ　会長 北野 克弘　幹事 菅野 浩

礼文ロータリークラブは、1983年稚内南RCをスポンサーに設立されました。今年度、北野克弘会長は「男女問わず新規会員の確保と会員相互の親睦を深め退会者の抑止と楽しいクラブにしよう」を活動方針とし、少人数ながら精力的に活動されております。

新卒町内就職者激励会は町全体に認知されており、ロータリークラブ公共イメージ向上につながっており、島の人口減少を抑える取り組みにも努めておられます。

会員の少ないクラブながら一体感があり、結束して活動しており、更なる飛躍が期待できる魅力的なクラブです。ますますご発展されますことを祈念いたします。

（公式訪問随行者　地区副幹事　本田秀明）







訪問日 9月9日　第1分区 天塩ロータリークラブ　会長　菅井 愛子　幹事　水口　司

天塩ロータリークラブは、1971年稚内RCをスポンサーに設立されました。

今年度、菅井愛子会長は「手にて つないで」を活動方針とし、会員同士の友情の輪を広げられるよう、クラブ内の輪を築き上げながら近隣のクラブ、地区のクラブ、そして遠方のクラブと大きな輪をつくれるよう精力的に活動されております。

天塩高校と筑波大学との地学連携事業支援や、恵愛荘(老人ホーム)への奉仕活動を継続して行っております。

また、交通安全啓発や新入学生への防犯ベルの寄贈など、地域と密着した目に見える活動にも取り組み、会員増強にもつながるよう努めております。更なる飛躍が期待できる魅力的なクラブです。ますますご発展されますことを祈念いたします。

（公式訪問随行者　地区副幹事　本田秀明）







訪問日 9月9日　第1分区 稚内ロータリークラブ　会長　佐々木 拓哉　幹事　中川 雄策

稚内ロータリークラブは、1957年旭川RCをスポンサーに設立されました。今年度、佐々木拓哉会長は「親睦からつながる、続いていくクラブへ」を会長方針とし、会員一人ひとりが無理なく関わりながら、それぞれの立場で地域に関わり続けるクラブを目指して活動されております。

来年2027年にクラブ設立70周年を迎えるにあたり、実行委員会を設置し準備を進めています。

姉妹クラブは、国内1クラブ·海外2クラブの計3クラブで、1977-78年度にはガバナーを輩出しています。

会員数は5名増を目標に現在41名から43名へと増強、女性会員も2名在籍しています。また、特筆すべきは会報の簡素化を目的に例会の動画をアップして配信し、メークアップにも活用していることです。先進的な取り組みであり、非常に興味深く拝聴しました。

もちろん地域に密着した奉仕活動も積極的に行っており、更なる飛躍が期待できる魅力的なクラブです。ますますご発展されますことを祈念いたします。

（公式訪問随行者　地区副幹事　本田秀明）







訪問日 9月9日　第1分区 稚内南ロータリークラブ　会長　原 いづみ　幹事　木越 将雄

稚内南ロータリークラブは、1972年稚内RCをスポンサーに設立されました。

今年度、原いずみ会長は「手に手つないで、広げていこうロータリーの輪」を活動テーマとし、先輩達が作り上げてきた親睦の強さを引継ぎ、新しい仲間を迎え入れながら、それを紡いでいき伝承していくため精力的に活動されております。

会員数は36名（内、女性１名)、女性も含め増強に努めておられます。又、海岸清掃や障害者施設への慰問、ロータリーの森の整備等、奉仕活動にも積極的に取り組まれております。

クラブ内の一体感を大切にされており、更なる飛躍が期待できる、魅力的なクラブです。ますますご発展されますことを祈念いたします。

（公式訪問随行者　地区副幹事　本田秀明）







訪問日 9月16日　第5分区 北見ロータリークラブ　会長　帰山 哲雄　幹事　五十嵐 龍

北見ロータリークラブ様の例会に参加致しました。1952年旭川RCをスポンサーに設立。前身の野付牛RCの設立は1937年にさかのぼります。

帰山会長は、「さらなる親睦と奉仕から持続可能な未来へ ～ロータリアンとしての矜持をもって～」を方針として掲げ、若手会員や女性会員の拡大、他団体との連携にも積極的に取り組まれています。

この度は誠にありがとうございました。これからもますますご発展されますことを祈念いたします。

（公式訪問随行者　地区副幹事　菅井謙敬）







訪問日 9月16日　第5分区 北見東ロータリークラブ　会長　堀江　篤　幹事　森　大悟

北見東ロータリークラブ様の例会に参加致しました。

1961年に設立。「願いをカタチに、奉仕を未来へ」をスローガンに掲げ、堀江会長のもと、会員増強やロータリー財団、ロータリー米山記念奨学会に関する活動はもちろん、北見市における部活動の地域移行を見据えた青少年事業にも積極的に取り組まれています。

また、創立65周年記念事業に向けた準備も進められています。

このたびは、誠にありがとうございました。北見東ロータリークラブの今後ますますのご発展を祈念いたします。

（公式訪問随行者　地区副幹事　菅井謙敬）







訪問日 9月16日　第5分区 北見西ロータリークラブ　会長　山本 英敏　幹事　紺野 賢太郎

北見西ロータリークラブ様の例会に参加致しました。

1971年に設立。山本会長のもと、「奉仕のこころで和気あいあい・笑顔をつなぐロータリー」をスローガンに掲げ、長年受け継がれてきた「親睦が一番」という考えを大切にしながら、身近なところから「笑顔を送る奉仕活動」を進められています。

これからも、北見西ロータリークラブがますます発展されますことを祈念いたします。

（公式訪問随行者　地区副幹事　菅井謙敬）







訪問日 9月16日　第5分区 留辺蘂ロータリークラブ　会長　谷口 利美　幹事　長瀬 順一

留辺蘂ロータリークラブ様の例会に参加いたしました。

1958年設立。竹村会長のもと、「親睦から飛躍した奉仕活動を考えよう」をスローガンに掲げ、親睦を通じて育まれる信頼関係を礎に、自転車用ヘルメットの寄贈や、新入学児童を校門前で迎える活動など、地域に寄り添った温かな奉仕を続けられています。

留辺蘂ロータリークラブの今後ますますのご発展を祈念いたします。

（公式訪問随行者　地区副幹事　菅井謙敬）







訪問日 9月17日　第3分区 富良野ロータリークラブ　会長　荒木　徹　幹事　山田 裕之

富良野ロータリークラブは、1961年旭川RCをスポンサーに設立されました。

今年度、荒木徹 会長は「「LET'S TRY」試してみましょう」とし、富良野クラブの先輩が脈々と積み重ねた伝統を継承しつつ、新たなる発展を目指し新しい活動にチャレンジする年度とし、本年度に限り外部講師による卓話を大幅に増やし、開放的なクラブの雰囲気を醸成していくこと。会員増強については、女性を増やすためにあえて女性会員を委員会の中枢メンバーに据えたこと。荒木会長が掲げた「「LET'S TRY」試してみましょう」を精力的に取り組まれておりました。

本年度10月には、インターアクトクラブの承認式を控えており、青少年育成にも積極的に取り組まれております。

更なる飛躍が期待できる、魅力的なクラブです。ますますご発展されますことを祈念いたします。

（公式訪問随行者　筆頭地区副幹事　浅井　傑）







米山記念奨学生からの報告～函館旅行記

皆さんと歩いた函館

旭川市立大学保健福祉学部 劉 雲 舒
（リュウ　ウンジョウ・中国出身）

9月、カウンセラーと旭川西ロータリークラブの皆様と一緒に、函館へ旅行に行きました。函館では、五稜郭や旧函館区公会堂を訪れたり、市電に乗って街を巡ったりと、三日間でさまざまな場所を歩きました。歴史ある建物と港町らしい風景が身近にある函館は、同じ北海道でも旭川とはまた違った雰囲気で、街を歩くだけでも新鮮でした。



特に楽しかったのは、有名な観光地だけではなく、函館の日常や街の中にある小さな発見に触れられたことです。朝に訪れた自由市場は、普段利用するスーパーやショッピングモールとは違い、店の方の声や並んだ魚介類から市場ならではの活気を感じました。また、ハセガワストアでお弁当を買い、海の見える公園で皆様と一緒に食べた時間も印象に残っています。海を眺めながら、みんなで話をしながら食べたお弁当は、特別に豪華なものではありませんでしたが、旅の中だからこそ感じられる楽しさがありました。こうした何気ない時間も、今振り返ると大切な思い出の一つです。旧函館区公会堂の近くでは、柵の中に隠れている小さなハートの形をみんなで探しました。なかなか見つからず、あちこち見ながら歩いた分、実際に見つけたときは少しうれしくなりました。みんなで足を止めて写真を撮り、こうした小さな目的を一緒に楽しめたことも、今回の旅の思い出になっています。



今回の旅行で一番心に残っているのは、皆様と一緒に過ごした時間です。夕方、ロープウェイで函館山に登ると、展望台には想像していた何倍もの観光客が集まっていました。人の多さに驚きながらも、皆様がよりきれいに写真を撮れる場所や角度を一緒に探してくださいました。五稜郭では、それぞれの入場券を円になるように並べて写真を撮り、市電では車内のミラーに映ったみんなで写真を撮りました。振り返ってみると、どこへ行って何を見たかということ以上に、皆様と一緒に楽しんだ時間そのものが強く心に残っています。



留学生として生活していると、普段は大学の友人など同世代の人と過ごすことが多く、世代や経験の異なる方々とゆっくり話す機会はそれほど多くありません。今回の旅行では、移動や食事、街歩きを一緒にしながら、普段よりもたくさんの話をすることができました。文化交流というと少し難しいものに感じますが、一緒に旅をし、同じものを食べ、同じ景色を見ながら、お互いのことを自然に話すことも、一つの文化交流なのだと思いました。今、旅行中に撮った写真を見返すと、函館の美しい景色だけではなく、そのときの会話や笑い声まで思い出します。函館で過ごした三日間は、皆様との距離が以前より少し近くなったと感じられる、大切な思い出になりました。

米山月間に因んで



2026-27年度 国際ロータリー第2500地区
米山記念奨学会運営委員会 委員長
松　浦　信　一（北見西RC）

RI2500地区の米山奨学事業は、他地区とは少し異なった様相を呈しています。

その理由として、まず地区の範囲が非常に広いこと、そして米山奨学生の資格を持つ学生が在籍する指定校が限られ、地域的にも偏在していることが挙げられます。また、地区全体の会員数も都市部の地区と比べると少なく、寄付額との関係から、奨学生を多く採用することが難しいという現状もあります。

一見すると、他地区と比べて不利な条件が多いように思われるかもしれません。しかし、私たち米山奨学委員会は、決してそれをマイナスとは捉えていません。なぜなら、RI2500地区には、この地区ならではの大きな強みがあるからです。それは、米山奨学生の受け入れを快く引き受けてくださるロータリークラブの皆様の存在です。

これまでRI2500地区では、多くの米山奨学生を受け入れ、お世話をしてまいりました。そのたびに私たちが心から感謝し、頭の下がる思いになるのは、受け入れを引き受けてくださった世話クラブの皆様、そして奨学生に親身になって寄り添ってくださったカウンセラーの皆様の温かさです。奨学生一人ひとりに心を配り、家族のように接し、北海道での生活を支えてくださる姿には、いつも深い感動を覚えます。

広大な北海道の地で、ロータリアンとの出会いと交流を経験した米山奨学生たちは、きっと将来、その経験を糧として、母国と日本との架け橋となってくれることでしょう。私たちは、そのことを強く信じています。

そして、米山奨学事業は、奨学生だけに学びを与えるものではありません。私たちロータリアン自身も、異なる文化や価値観に触れ、互いに理解し合うことの大切さを学ぶ機会をいただいています。これもまた、米山奨学事業の大きな魅力の一つではないでしょうか。もしかすると、その喜びを最も身近に感じることができるのが、米山奨学委員会の役員であり、それが楽しさなのかもしれません。

一方で、私たちは常に、「どうすればこの事業の素晴らしさや意義を、奨学生のいない分区の皆様にもお伝えすることができるだろうか」と考えています。

現在、地区全体で米山奨学事業について知っていただく機会として、7月に開催される米山セミナー、そして10月の地区大会があります。

先日開催された米山セミナーでは、第4代米山親善大使のウォーターズ・カレン・ジュリアさん（オーストラリア）と、現在、北見工業大学に在学し、北見RCでお世話をしている米山奨学生のテリゲルさんにご講演いただきました。お二人とも、米山奨学生として得た経験や出会いが、その後の人生にどのようにつながり、現在の自分を支えているのかを、熱く語ってくださいました。お二人の言葉から、米山奨学事業が人の人生に与える大きな力を、改めて感じる素晴らしい講演となりました。そして10月の地区大会では、現在RI2500地区でお世話をしている米山奨学生が、ロータリアンの皆様に自らの思いを語ってくれます。どうか彼らの姿を見守り、その声に耳を傾けていただければ幸いです。

10月は米山月間です。「奨学生の話を聞いてみたい」「米山奨学事業について、もっと知りたい」そのようにお考えのクラブがございましたら、ぜひお近くの地区米山委員にお声がけください。一人の奨学生との出会いが、一つのクラブを変え、そして私たちロータリアン自身の心を豊かにしてくれることがあります。RI2500地区だからこそできる米山奨学事業を、これからも皆様とともに育てていきたいと思います。

皆様には、今後とも米山奨学事業に対し、より一層のご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

分区だより

第３分区

「ガバナーのホーム分区の心遣い」



第３分区ガバナー補佐
駒　形　貞　洋
旭川東ロータリークラブ

ガバナー補佐を拝命して、右も左もわからぬままセミナー、準備とエレクト年度を走りだし、分区12クラブのクラブ協議会への訪問を各クラブ会長幹事は元より会員皆様のご協力で円滑に終了致しました。各クラブ協議会において山本年度のガバナー方針を目標に向け最大限にご協力いただけることをお約束いただき、また合同での公式訪問開催予定クラブの皆様におかれましては、合同開催にご理解いただき改めて感謝申しあげるところです。表題の通りガバナーを輩出する分区の各クラブの皆様の協力に向けた温かいお言葉を頂戴でき、ほっとしているのが正直な心持です。ガバナーに対する分区を挙げてのご協力に改めまして感謝申し上げます。

さて8月お盆過ぎより、我々の第三分区も公式訪問が始まりました。8月17日美瑛RCと北海道2500RECの合同公式訪問例会を開催頂きました。美瑛RCにはホストとして初めての合同開催にご尽力いただき、またEクラブの皆様には美瑛までご足労いただき両クラブの皆様にご苦労をおかけしました。合同開催はガバナーにとっても、両クラブにおいても初めて試みで、私が一番バタバタしてしまいましたが、美瑛クラブの温かい設えに、またEクラブの温かいご協力に助けられ、無事に公式訪問例会を開催でき、懇親会でおいしい「びえい豚」を堪能致しました。改めまして両クラブの皆様に感謝申し上げます。翌18日、旭川空港RC公式訪問で東神楽町へ新入会員も迎えてガバナーの講話を拝聴し、空港クラブの地域に密着した活動と共に空港クラブ独自の全国空港フォーラムへのお誘いもいただきました。今年度は名古屋空港RCがホストとなり開催されるとのことです。飛行機好きとしては、一度は参加してみたいものです。また翌19日旭川北RC、上川RC合同で開催、北クラブにはホスト、上川クラブにはご足労いただきアートホテルにて開催、ガバナーともども温かくお迎えいただき、両クラブ会長・幹事は元より、ガバナー補佐指名時より大変お世話になった吉川前年度ガバナー補佐にも改めて感謝申し上げる機会ができました。まだ7クラブの公式訪問が10月まで残っておりますが、各クラブの会長幹事と綿密に連絡を取り合い完遂に向けて、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げまして分区の活動報告とさせていただきます。



ポリオのない世界へ ――

ポリオプラス・ソサエティへのお誘い



国際ロータリー第2500地区
ポリオプラス小委員会　委員長
駒　形　貞　洋

ロータリーがポリオ根絶を最優先課題として歩み始めてから、世界の発症数は 99.9%以上減少しました。一方、完全な根絶にはまだ至っていません。今年度も、野生型ポリオウイルスによる症例がパキスタンとアフガニスタンで確認されています。この二か国は、今なお野生型ポリオが常在する最後の国々です。感染が続く限り、国境を越えて再び広がる危険は消えず、「あと少し」の今こそ、私たちの決意と支援が問われています。

ポリオはワクチンで予防できますが、まひを発症すれば治療法がありません。現地では、紛争や人口移動、接種が届きにくい地域などの困難が重なります。それでも保健従事者やボランティアは、子どもたち一人ひとりにワクチンを届け、感染の兆候を追い続けています。私たちの寄付は、ワクチンのみならず、輸送、保冷、監視、啓発を支える力になります。



【写真】ポリオ予防接種済みを示す紫色のインクがついた小指を見せる子どもたち（コートジボワール）

そこで皆さまに、ポリオプラス・ソサエティへのご参加をお願いいたします。これは、ポリオが世界から根絶される日まで、毎年継続してポリオプラス基金を支えていただく方々の輪です。一度のご寄付も大きな力ですが、毎年の継続したご支援は、活動を安定して計画し、最後の地域まで確実に届けるための礎となります。金額の大小だけではなく、「根絶まで支え続ける」という約束そのものが、子どもたちの未来を守る強いメッセージになります。

第 2500 地区のロータリアンの皆さまには、これまでの多大なるご理解とご協力に心より感謝申し上げます。各クラブでは、例会や行事で根絶活動の現状を共有し、会員、ご家族、地域へ支援の輪を広げていただければ幸いです。どうか、今一度ポリオプラスへのご協力と、末永く活動を支えるポリオプラス・ソサエティへのご入会をご検討ください。

ロータリーは、世界の子どもたちと「ポリオをなくす」という約束を交わしました。根絶の証明がなされるその日まで、手を緩めることはできません。一人の継続が仲間を生み、クラブの行動となり、やがて世界を動かします。「あと少し」を「ついに達成」へ変えるため、皆さまの新たなご決意と温かいご支援を、心よりお願い申し上げます。

釧路北ロータリークラブの取り組み

奉仕の輪を、次の世代へ

― 学生ボランティア公式LINEの取り組み ―

ロータリーの五大奉仕の一つに「青少年奉仕」があります。次世代を担う青少年の健全な成長を支え、社会との関わりの中でさまざまな経験を積む機会をつくることは、ロータリーの大切な役割の一つです。

昨年度、釧路北ロータリークラブ青少年委員会では、新たな取り組みとして「学生ボランティア公式LINE」を立ち上げました。

きっかけとなったのは、高校生を取り巻く環境の変化です。近年、大学入試では学力だけではなく、学校内外でどのような活動に取り組み、何を学んだのかを評価する総合型選抜なども広がっています。ボランティア活動をはじめとする社会参加の経験は、進学や就職だけでなく、高校生自身の成長にとっても大きな意味を持っています。

一方で、学校側が生徒にボランティア活動を経験させたいと考えていても、個々のボランティア情報を集め、参加者を募り、調整することには大きな負担があります。また、高校生も学業や部活動などで忙しく、「ボランティアをしてみたい」という気持ちはあっても、どこで、いつ募集しているのか分からないという課題がありました。

そこで考えたのが、高校生が使い慣れているLINEを活用し、地域のボランティア情報を直接届ける仕組みです。

公式LINEのQRコードを市内各高校の教室などに掲示していただき、生徒はスマートフォンで読み取るだけで登録できます。登録後は定期的にボランティア情報が届き、自分の予定に合う活動があれば参加する。学業や部活動を優先しながら「参加できる時に参加する」という気軽な仕組みにしました。参加申込みや急な欠席の連絡もスマートフォンから行えるため、高校生にとって非常に利用しやすいものとなっています。



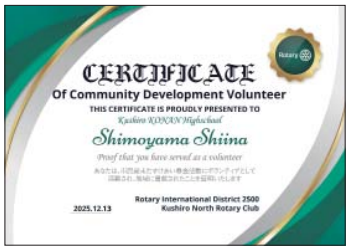
取り組みを始めて半年ほどで、登録者は70名を超えました。

この仕組みには、ボランティアを必要とする主催者側にも大きなメリットがあります。これまでは参加者を集めるためにポスターを作成したり、学校などへ募集を依頼したりする必要がありました。しかし、この公式LINEを活用すれば、必要な情報を提供するだけで、ボランティアに関心のある高校生へ直接届けることができます。実際に高校生が活動に参加することで、主催者からも「若い力が加わり、とても助かった」という声をいただいています。

そして、何より大きな成果は、参加した高校生自身の変化です。活動を終えた生徒からは「参加して良かった」

「人の役に立つことの喜びを感じた」「また参加したい」といった声が聞かれました。地域の人たちと接し、誰かのために行動する経験は、教室の中だけでは得ることのできない学びにつながっています。

参加した生徒には、活動内容を記載した「ボランティア活動証明書」も発行しています。進学や就職の際に活動実績として提出できるため、生徒たちも大変喜んで受け取っています。しかし、証明書以上に大切なのは、その活動を通じて得た経験や気付きそのものではないかと思います。



ロータリーは、長年にわたり地域の中でさまざまな奉仕活動を続けてきました。そのロータリーと、「地域のために何かしてみたい」と考える青少年をつなぐことができれば、奉仕の力はさらに大きくなります。

ロータリアンだけで奉仕を完結させるのではなく、学校、地域団体、そして青少年をつなぎ、新たな奉仕への参加者を増やしていく。それもまた、ロータリーだからこそできる青少年奉仕の形だと考えています。

そして、この仕組みは釧路だけのものではありません。LINEと地域の学校との連携があれば、第2500地区のそれぞれの地域でも展開できる仕組みだと考えています。それぞれのクラブが地域の青少年とつながり、地域で必要とされる奉仕活動へ若い力をつないでいく。その輪が地区全体へ広がれば、青少年の成長を支えると同時に、ロータリーの奉仕の輪をさらに大きくすることができます。

「学生ボランティア公式LINE」がその一つのきっかけとなり、釧路から地区へ、そして次の世代へと奉仕の輪が広がっていくことを願うとともに、これからもこの取り組みを大切に育てていきたいと考えています。

（釧路北ロータリークラブ　幹事　星耕輔）



学生ボランティア募集

釧路北ロータリークラブ イベント運営など多彩に

釧路北ロータリークラブ（多田洋平会長）は、釧路の街や人と触れ合いながら、自らの成長にもつながる「くしろ学生ボランティア」の募集を始めた。現在、高校1～3年生まで44人が登録を済ませており、13日にはボランティア活動を希望する生徒が、釧路和商市場内で行う歳末募金に参加する予定だ。

学生ボランティアの取り組みについて、同クラブ青少年委員会の中島仁象委員長は「多田会長が掲げるクラブの今年の目標に〝青少年奉仕の推進〟がある。大学などに進学する際、どういう奉仕活動があったかという活動の評価があるので、それをヒントに学生ボランティアを募集することを考えた」と語った。

募集は11月に入り開始。小中高校生、大学生（専門学校生含む）が対象。最初は高校生の募集から始め、中島委員長が各高校を回りその趣旨を説明しながらチラシを配布、学校側から「大変ありがたい」と感謝されたという。

活動内容は、地域イベントの運営や子供たちの遊びや学習の支援、スポーツ大会のサポートなどさまざまで、13日に行う歳末募金活動は、同クラブの「ノースサテライトクラブ」のメンバーと共に行う。また、来年1月に開かれる「くしろウインターパーク」にも参加をしてもらう予定。登録は無料通信アプリ「LINE」で行い、各種ボランティア情報もアプリに届くので、参加できる時に返信をする。登録した際には「ボランティア活

学生ボランティアの登録を呼び掛けている多田会長（左）と石部雅規幹事







新入会員の紹介



第３分区　旭川ロータリークラブ

菅野 秀樹（かんの ひでき）
私立高
1974年8月4日生／ 8月7日入会
新しい出会いから多くのことを学び、視野を広げながら、自分にできることを少しずつ見つけていきたいと思います。よろしくお願いいたします。



第３分区　旭川ロータリークラブ

篠田 憲男（しのだ のりお）
公共放送
1969年5月3日生／ 8月7日入会
単身赴任で旭川にやって来ました。とはいえ34年前の社会人スタートもここ旭川からでした。ロータリークラブ入会は今回が初めてです。皆様、ご指導のほど、よろしくお願いいたします！



第３分区　旭川ロータリークラブ

中西 良一（なかにし りょういち）
シティホテル
1974年8月1日生／ 8月7日入会
この度、入会をさせていただき、誠にありがとうございます。ご指導ご鞭撻の程、何卒、宜しくお願い申し上げます。



第３分区　旭川北ロータリークラブ

大澤 直弥（おおさわ なおや）
農業
1986年9月4日生／ 8月19日入会
旭川のはずれで農業をやっています。大澤です。米にこまった時にはご連絡を。よろしくお願いします。



第３分区　旭川北ロータリークラブ

後藤 暁人（ごとう あきひと）
自動車賃貸業
1962年3月31日生／ 8月19日入会
「人と車を通して安心・安全で自由に移動できるすべて（サービス）を提供」し、社会に貢献し続ける企業を目指しております。プライベートではオートキャンプを楽しんでいます。



第７分区　釧路北ロータリークラブ

藤田 康弘（ふじた やすひろ）
保険代理店
1971年10月12日生／ 8月5日入会
釧路北ロータリークラブでの活動を通じて、皆様と交流を深めながら自己成長できればと思っておりますので今後ともよろしくお願い致します。



第７分区　釧路北ロータリークラブ

松澤 宏和（まつざわ ひろかず）
土木工事
1977年7月23日生／ 8月5日入会
この度入会出来た事感謝申し上げます。多くのロータリアンから学び刺激を受け成長して行きたいです。どうぞ宜しくお願い致します。



第７分区　釧路北ロータリークラブ

吉岡 康太（よしおか こうた）
塗装工事
1992年9月11日生／ 8月5日入会
入会の機会をいただき、ありがとうございます。自己の成長はもとより、この地域や社会の発展に少しでも貢献できるよう、活動してまいります。先輩諸氏の皆様、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

例会出席率・会員数推移（2026年８月末報告）

分区	クラブ名	例会数	出席率（%）	会員数 前月	当月	増減	女性会員	入会	退会
1	礼　文	2	-	13	13	0	0	0	0
	利　尻	3	60.00	22	22	0	2	0	0
	利尻島	1	42.80	14	14	0	0	0	0
	天　塩	2	62.50	16	16	0	3	0	0
	豊　富	4	100.00	20	20	0	0	0	0
	稚　内	3	82.50	43	43	0	2	0	0
	稚内南	3	79.00	36	36	0	1	0	0
				164	164	0	8	0	0
2	美　深	3	81.61	27	27	0	1	0	0
	枝　幸	3	56.00	25	25	0	0	0	0
	名　寄	2	67.30	50	50	0	2	0	0
	中頓別	3	69.00	11	11	0	0	0	0
	士　別	2	86.37	44	44	0	1	0	0
				157	157	0	4	0	0
3	旭　川	3	-	102	105	3	11	3	0
	旭川東	2	-	28	28	0	0	0	0
	旭川北	3	-	51	52	1	4	2	1
	旭川南	3	-	29	29	0	2	0	0
	旭川西	3	-	48	47	-1	5	0	1
	旭川東北	2	-	19	19	0	1	0	0
	旭川MRC	2	-	22	22	0	4	0	0
	旭川空港	3	89.60	16	16	0	2	0	0
	美　瑛	4	-	32	33	1	2	1	0
	富良野	3	72.60	45	44	-1	3	0	1
	上　川	3	-	11	11	0	1	0	0
	2500E	2	53.80	13	13	0	3	0	0
				416	419	3	38	6	3
4	遠　軽	3	71.00	47	47	0	3	0	0
	紋　別	3	57.43	32	32	0	2	0	0
	紋別港	3	68.97	30	30	0	3	0	0
	興　部	3	80.90	14	14	0	1	0	0
	雄　武	3	47.22	12	12	0	0	0	0
	滝　上	3	71.40	14	14	0	1	0	0
				149	149	0	10	0	0

第2500地区	前月末会員数	当月末会員数	増　減	平均出席率
	2247	2255	8	69.17
女性会員数	176	175	-1	

分区	クラブ名	例会数	出席率（%）	会員数 前月	当月	増減	女性会員	入会	退会
5	網　走	3	65.37	53	53	0	6	0	0
	網走西	3	76.28	52	52	0	3	0	0
	美　幌	3	88.90	54	54	0	5	0	0
	北　見	3	71.93	59	59	0	8	0	0
	北見東	3	78.59	49	49	0	3	0	0
	北見西	3	82.00	68	68	0	5	0	0
	清　里	2	77.90	29	29	0	0	0	0
	留辺藥	3	69.69	22	22	0	0	0	0
	斜　里	4	61.17	26	29	3	4	3	0
				412	415	3	34	3	0
6	足　寄	3	55.60	24	24	0	2	0	0
	広　尾	2	59.40	16	16	0	1	0	0
	上士幌	3	57.80	15	15	0	0	0	0
	芽　室	2	100.00	22	21	-1	1	0	1
	帯　広	3	73.50	88	87	-1	11	0	1
	帯広東	4	66.60	37	36	-1	3	0	1
	帯広北	3	52.12	55	55	0	4	0	0
	帯広南	4	69.10	64	64	0	9	0	0
	帯広西	3	57.80	82	84	2	9	2	0
	音　更	3	74.60	42	42	0	6	0	0
	清　水	3	62.16	20	20	0	1	0	0
				465	464	-1	47	2	3
7	釧　路	3	69.50	108	108	0	1	0	0
	釧路東	3	52.00	26	26	0	0	0	0
	釧路北	3	63.00	81	84	3	6	3	0
	（ルミナス）			8	8		8		
	釧路南	3	54.00	26	26	0	5	0	0
	釧路西	2	51.00	26	26	0	2	0	0
	釧路ベイ	3	75.90	18	18	0	2	0	0
	音　別	3	82.00	13	13	0	0	0	0
	白　糠	3	72.70	11	11	0	1	0	0
				317	320	3	25	3	0
8	厚　岸	4	73.00	15	15	0	1	0	0
	浜　中	3	58.00	9	9	0	0	0	0
	中標津	3	52.40	49	49	0	6	0	0
	根　室	3	75.30	31	31	0	0	0	0
	根室西	4	68.10	46	46	0	1	0	0
	弟子屈	2	87.50	17	17	0	1	0	0
				167	167	0	9	0	0
			69.17	2247	2255	8	175	14	6



2027年6月26日～30日　バルセロナ・スペイン

会場：Fira Barcelona Gran Via

登録料

	2026年9月17日～21日 5日間限定・早期割引	2026年9月22日～ 2027年3月31日	2027年4月1日～ 6月30日
クラブ会員、会員以外の方、または同伴者（31歳以上）	US$595	US$795	US$895
クラブ会員、会員以外の方、または同伴者（30歳以下）	US$250	US$350	US$400
5～18歳の同伴者	US$20	US$30	US$40
5歳未満の同伴者	無料	無料	無料

RIバルセロナ国際大会 推進チーム

推進チームメンバー

出村 知佳子 | chikakodemura@gmail.com

日本チーム

第1地域　佐渡 正幸	第2地域　中川 雅雄	第3地域　大橋 秀典
RID2500・釧路北ロータリークラブ	RID2580・東京浅草ロータリークラブ	RID2660・東大阪東ロータリークラブ

大会登録・詳細 | https://convention.rotary.org/ja-jp/registration

2026-27年度 国際ロータリー第2500地区　ガバナー事務所のご案内

ガバナー　山本 倫生
地区幹事　小滝 達也
事務局　前野 房子



所在地
〒070-0031
北海道旭川市1条通10丁目159ツインクル1条通ビル3階
TEL 0166-74-8380　FAX 0166-74-8533
Email rid2500@aa.wakwak.com

ホームページ　https://www.ri2500.gr.jp/

勤務時間　10：00 ～ 17：00

休日　土曜、日曜、祝日　夏期休暇 8/11 ～ 16　冬期休暇 12/28 ～ 1/5

Rotary District 2500

国際ロータリー第 2500 地区

〒 070-0031 北海道旭川市 1 条通 10 丁目 159 ツインクル 1 条通ビル 3 階
TEL 0166-74-8380　FAX 0166-74-8533　Email rid2500@aa.wakwak.com

Rotary International District 2500

Twincle 1-jodori Building 3F, 159,10-chome,1-jodori,Asahikawa,Hokkaido,070-0031,Japan
Phone +81-166-74-8380　FAX +81-166-74-8533　Email rid2500@aa.wakwak.com

国際ロータリー日本事務局　事務所のご案内

〒 108-0073 東京都港区三田 1 丁目 4-28 三田国際ビル 24 階

会員増強・体験推進室	TEL 03-5439-5800	Email rijapan@rotary.org
財団室	TEL 03-5439-5805	Email rijpntrf@rotary.org
経理室	TEL 03-5439-5803	Email rijpnsf@rotary.org
業務推進室	TEL 03-5439-5802	Email rijpnpi@rotary.org

Rotary

CREATE LASTING IMPACT

2026-27年度 国際ロータリー第2500地区

地区大会

記念ゴルフ大会

2026. 10. 9 (Fri)

大雪山カントリークラブ

特別記念講演

演題

「人生何が起きるかわからない
～太蔵流チャンスをつかむ技術」



杉村　太蔵 氏

開催日

2026. 10. 10 (sat)

会　場

旭川市民文化会館

2026-27年度　RI第2500地区ガバナー　**山本　倫生**

ホストクラブ：旭川ロータリークラブ